

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	保育実習ⅠB		
担当者(Instructors)	伊藤 龍仁	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択
実務家教員科目(Pro teacher course)			

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

既習の教科全体の知識・技能を基礎とし、総合的に実践する応用力を養うために保育所以外の児童福祉施設等において概ね10日間（80時間程度）の実習を行い、施設の役割や機能、子ども又は施設利用者、保育士の職務内容や職業倫理等を具体的に理解する。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	実験・実習
授業の方法(Class method)	居住型児童福祉施設等の生活に参加し、子ども（利用者）への理解を深めさせるとともに、施設等の役割・機能とそこでの保育士の職務と役割について学ばせる。以上の内容を宿泊又は通いの実習形式で行う。
当該科目と実務との関係(Relationship between course and practice)	児童福祉施設の職員（実習指導担当）としての実務経験（19年）を活かした指導をしている。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第2回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第3回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第4回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第5回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第6回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第7回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第8回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第9回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第10回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第11回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第12回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第13回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>
第14回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	<input type="checkbox"/>

第15回	10日間（宿泊又は通い・80時間程度） 実習の実施	居住型児童福祉施設等において規定時間の実習に取り組む。	□
------	------------------------------	-----------------------------	---

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

①保育実習ⅠBにおける事前・事後指導の授業を履修して課題に取り組む。②「実習生個人票」「評価票」「出勤簿」「誓約書」「実習計画書（課題と抱負）」を作成する。③計画書を作成してサービスラーニングに取り組み、実施後に記録を作成する。④保育実習ⅠB終了後に実習を振り返り「自己評価票」「実習報告書」を作成する。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

①提出書類については添削して評価を行い、授業内で返却して解説し、改善を図らせる。②作成した「実習記録」を配属施設の担当職員が添削してコメントを記入して学生にフィードバックを図る。③配属施設の評価を学生に開示してフィードバックを図る。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	保育士資格に必須の資質と知識、基礎的・実践的な技能を身につけられたか。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	現代の児童福祉現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことのできる力強い思考力・判断力並びにコミュニケーションスキルと表現力を習得できたか。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	児童福祉施設における養護・教育・保育に主体的協働的に携わることのできる幅広い人間力を体得できたか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			0%	100%

授業内試験等(具体的な内容)(Specific contents)

配属施設における評価80%
実習記録並びに担当教員評価20%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	保育士をめざす人の福祉施設実習〔第2版〕 愛知県保育実習連絡協議会・「福祉施設実習」編集委員会 編集代表：伊藤貴啓・小川英彦	9784860153083
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		